

議会広報広聴委員会記録

令和6年5月8日（水）

13時31分～13時57分

第4委員会室

【出席者】 村武委員長、村木副委員長、
肥後委員、大谷委員、三浦委員、沖田委員、川上委員、上野委員、
西田委員、川神委員

【議長団】 笹田議長

【事務局】 下間局長、村山書記、小寺主任主事

議題

1 はまだ議会だよりminiについて…………… 資料1

(1) 第29号掲載内容及び原稿担当

(2) その他

2 地域井戸端会について…………… 資料2

(1) 準備物、段取り確認

(2) その他

3 その他

(1) 研修会について

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[13 時 31 分 開議]

○村武委員長

ただいまから議会広報広聴委員会を始める。出席者は10名で定足数に達している
ので、このまま始めていきたい。

1 はまだ議会だよりminiについて

(1) 第29号掲載内容及び原稿担当

○村武委員長

書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○村武委員長

それでは掲載項目について決めていきたい。

(以下、掲載項目について協議)

○村武委員長

それでは2項目ということで、福祉環境委員会と産業建設委員会に一つずつ出して
いただくということによろしいか。

(「はい」という声あり)

では議員のつぶやきについて、どなたか提案していただけたらと思うがいかがか。

(以下、掲載項目について協議)

では議員のつぶやきは、西田委員に山崎ていじ氏のことを書いていただくという
ことでお願いしたい。

先ほどの福祉環境委員会と産業建設委員会の記事だが、書いていただく担当者を
決めたい。

○村木副委員長

私が視察をパワーポイントにまとめる役なので、これも書く。

○村武委員長

産業建設委員会の記事は村木副委員長をお願いします。福祉環境委員会はいかがか。

○三浦委員

私が書く。

○村武委員長

それでは三浦委員をお願いします。原稿提出締切日は5月22日水曜日12時までなので、
よろしくをお願いします。

(2) その他

○村武委員長

議会だよりminiについて、その他何かあるか。

(「なし」という声あり)

2 地域井戸端会について

(1) 準備物、段取り確認

○村武委員長

書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○村武委員長

地域井戸端会の当日の流れなどを説明いただいたが、不明な点や質問、何か意見があればお願いします。

(「なし」という声あり)

では、このように進めていってもらいたい。準備物はこの後渡してもらえるものがあるのか。

○村山書記

準備物は今から印刷するので、明日以降に取りに来てもらうようお願いする。

○村武委員長

11日の大麻まちづくりセンターから始まるので、間に合うようにお願いします。

準備物などについてはこれで終わりたいが、よろしいか。

○村山書記

Side Booksに、各会場の補助員等を含めた形で当日出席者の表を作成して入れているので、参考にしてもらいたい。

(2) その他

○村武委員長

地域井戸端会について、その他何かあるか。皆それぞれ周りの方に声掛けをしてもらっていると思うが、私自身ももう少し力を入れてやっていきたいと思っているので、皆も声掛けをしていただけたらと思う。

まちづくりセンターや地元の地区まちづくり推進委員会などにも声掛けしてもらえたらと思う。

○上野委員

こちらに伝わっているか分からないが、先ほど柳楽議員から予定を交代してほしいと言われた。

○村山書記

話は伺っている。反映させた資料に差し替えさせてもらう。

○村武委員長

どことどこが代わったのかももう一度お願いする。

○上野委員

美川と長浜である。

○小寺主任主事

長浜の柳楽議員と、23日美川の上野委員が交代となる。

○村武委員長

会場のチラシなどは。

○村山書記

連絡を取って差し替えようと思う。

○村武委員長

そのほか、地域井戸端会について何かあるか。

(「なし」という声あり)

3 その他

(1) 研修会について

○村武委員長

前回の委員会で、新たな情報発信について皆と勉強会ができれば良いと提案し、皆から了解をいただいた。私から一つ提案をさせていただきたい。前回の委員会では先進地市議会の話聞くという話を少しさせてもらったが、今配信したPOTETOという会社は、令和4年6月22日の議会広報広聴委員会でも一応提案させてもらった。この会社代表の古井康介氏は、政治などを若者に広める活動をされている。今配信した資料はどこからのものだったか。

○村山書記

牛尾議員が参加された勉強会でいただいた資料である。

○村武委員長

こういった方から、今の時代に若者に向けた発信にはどういったものがあるか、どういったものが受け入れられやすいかといったお話を聞けたら良いと考えている。来ていただくというよりもオンライン研修を考えているが、皆はいかがだろうか。前も当委員会に出ておられた方は見たことがあるかと思う。

○大谷委員

掛かる経費はどのくらいか。

○村山書記

オンライン開催は可能とのことだが、金額はまだ確認できていない。

○村武委員長

議会広報広聴委員会の視察費もあるので、そこからの支出を予定している。オンライン研修の受入れは可能だと聞いている。予算はもう一度確認させてもらおう。

○村山書記

受講者は議会広報広聴委員だけか、ほかの議員も参加するのかわでは人数が変わって費用が変わる可能性がある。

○大谷委員

いくつかオンライン研修の例を見ると、一人1万5千円といった金額になるので一応確認した。人数が多ければ予算が要る。

○村武委員長

そこは確認させていただく。もしこの方で良いということになれば、日程的には7月、8月くらいを考えているのだが、講師先生の日程もあるし皆との日程調整も必要になる。

○大谷委員

金額を見ないと、実際判断がしにくいと思って確認している。

○村武委員長

そこは確認をさせていただいて、次の委員会はいつか。

○村山書記

6月10日予定である。

○村武委員長

そこで決定となると少し難しい。

○村山書記

では金額はLINE WORKSでお知らせし、全員協議会後に短い時間ではあるが、実施するかどうかの委員会を開くことも考えられるがいかがか。

○村武委員長

皆いかがだろうか、それで決定させていただいてよろしいか。それまでに細かいところまで詰めていきたい。

○西田委員

費用がどれだけ掛かるかわからないが、費用の問題よりも中身の問題で、もしこれが本当に議会広報広聴委員会にとっても、あるいは議員にとっても良い内容ということなら、議会広報広聴委員会としての予算もあるがそれぞれの政務活動費を充てても良い。

○村武委員長

一応議会広報広聴委員会での研修という形にしたいと思うので、予算は議会広報広聴委員会の視察費から出す形を考えている。

委員外の方の参加が可能かどうかは、また考えないといけない。個人的には委員外の方も結構関心があるかと思うので、受けてもらっても良いとは思いますが、そうなるかと委員会で開催する研修に委員外の方が参加するのは可能か。

○下間局長

可能ではあると思うが、そもそもこれは議会広報広聴委員会の視察旅費を使っての研修という意味合いだろうか。

○村武委員長

はい。

○下間局長

ならば一人当たり8万円の旅費から、例えば一人に対して1万5千円の受講料という見積りが来たとき、委員外の方の費用まで議会広報広聴委員会の視察旅費を充てるのは少し違うと思う。そこは政務活動費を充てるのも良いかもしれないし、もしかしたら一人当たりいくらということではないかもしれない。

○村武委員長

予算を含めて細かいところをもう一度検討させていただき、全員協議会が終わってから時間を取っていただけたらと思う。そこはまた連絡させていただきたい。よろしいか。

(「はい」という声あり)

一応研修については以上ということで、その他何かあるか。

(「なし」という声あり)

以上で議会広報広聴委員会を終了する。

[13 時 57 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 村武 まゆみ